

## 第3次草津市みどりの基本計画（案）

## 提出された意見と市の考え方

No	意見（ページ数）	市の考え方
1	<p>[P 4 2 ②、P 5 4]</p> <p>公園を増やすことは賛成です。しかし、広い公園では樹々が多く、「みどり」を感じられませんが、小さな公園では感じられません。せめて、500㎡の広さ5～7mの樹木が木陰を作る公園を増やしてほしいです。</p>	<p>小さな公園の遊具や樹木については、再編・再整備を行う際に、地域の御意見や利用実態を踏まえ、検討してまいります。</p>
2	<p>[P 5 2]</p> <p>教育現場との連携の強化。湖南農高と連携を図る。苗の育成や樹木管理などを市民と共に行っていききたい。</p>	<p>草津川跡地公園においては湖南農業高校が管理運営会議に参画し、緑の維持管理活動を行っている箇所がございます。</p> <p>御意見のとおり、教育現場との連携については今後も展開できるよう進めてまいります。</p>
3	<p>[P 5 3]</p> <p>緑の多い住宅地を歩くのは気持ちのよいものです。今後住宅地を開発するにあたって、個々の緑地や街路樹の割合を考えて開発してほしいです。</p>	<p>住宅地の開発につきましては、緑地協定制度等の活用や開発指導において、今後も身近な緑の確保を図ってまいります。</p>
4	<p>[P 5 3]</p> <p>公園の緑は点にすぎません。その点を結ぶ線、道路の景観を見直してほしいです。</p> <p>「杜の都仙台」のように、草津市も「杜の都草津」と呼びたいですね。まずは市役所の通りから見直すのも良いかもしれません。ケヤキがなんの樹木かわからない姿を見るのはいたたまれません。</p>	<p>街路樹につきましては、みどりの確保と道路交通の安全確保という観点が重要であると考えております。</p> <p>今後も、適切な維持管理に努めてまいります。</p>
5	<p>[P 5 0、5 7]</p> <p>動物が森と琵琶湖を往来できるように新草津川の河川敷沿いに樹木を植えてはどうか。</p>	<p>琵琶湖岸と山手丘陵地を結ぶ区間については動植物の移動空間を維持するため、「水とみどりの軸」の形成を図ることとしており、草津川などにおいて多様な生物の成育・生息の場として良い環境を保てるよう努めてまいります。</p>

6	<p>[P 6 6]</p> <p>地産地消をもっと促進する。学校給食やレストラン、スーパーへの働きかけ。「おいしい草津米や野菜」を作るには、おいしい水の確保が重要。</p>	<p>本市の学校給食（小学校）につきましては、地産地消を推進しており、主食の米は草津市産を100%使用しているとともに、野菜等もできる限り草津市産、滋賀県産の使用を進めております。</p>
7	<p>[P 6 9]</p> <p>「つくる」を進めるにあたって、道路の緑化と並行して、電線の見直しが必要ではないか。</p>	<p>いただいた御意見につきましては、関係機関に伝えていきます。</p>
8	<p>[その他]</p> <p>「魅力空間都市」を考えたとき、「みどり」だけではなく、建物の形や色、看板や幟旗など景観にかかわるものを総合的に考えなくてはなりません。すべてを規制するわけには行かないかもしれません。しかし、企業や店舗とも連携を図り、重点地区での高さや色の統一、コンセプトの共有、など草津市民が誇れる街を作っていただければと思います。</p> <p>そして、建設部公園緑地課だけではなく、都市計画部、教育委員会など垣根を超えて草津市の未来を計画していただきたいです。</p>	<p>関係部局とともに、第6次草津市総合計画や草津市景観計画など各種関連計画との調和を図りながら、本計画の推進に努めてまいります。</p>

▼原案への反映について

パブリックコメントの実施結果による計画（案）の修正・変更はありません。  
お寄せいただいた御意見は、計画に基づく具体的な取り組みにあたっての参考とさせていただきます。